

第3次広島県肝炎対策計画に基づく各種施策の実施状況

令和2年3月11日
健康福祉局薬務課

1 第3次広島県肝炎対策計画概要等

更なる肝炎対策の推進を目指して、平成29年度から33年度の5年間における計画を策定した。この計画では、目指す姿と全体目標を表のとおりとした。

目指す姿	県民が肝炎について正しい知識を持ち、 予防・検査・治療等の肝炎対策に主体的に取り組んでいること
全体目標	肝がんによる75歳未満年齢調整死亡率の15%減少（令和2年 5.6）

そこで、目指す姿の実現に向けて、当計画では基本施策として次の3つの柱を立て、これに基づいて各種施策を実行する。

(1) 予防：新たな感染の防止

- ・効果的な啓発の実施
- ・B型肝炎ワクチン定期接種の推進

(2) 発見：肝炎ウイルス検査の受検促進

- ・肝炎ウイルス検査の受検機会の提供
- ・肝炎ウイルス検査の必要性に関する広報

(3) 相談・受療：病態に応じた適切な肝炎医療の提供

- ・治療に対する支援
- ・肝炎ウイルス検査後のフォローアップ体制の充実
- ・肝疾患相談体制の充実

2 啓発活動【予防／発見】

(1) 背景

平成22年にWHOが7月28日をWorld Hepatitis Day（世界肝炎デー）と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱した。これにより、平成24年に日本でも7月28日を日本肝炎デーと定め、7月28日を含む月曜から日曜日までの1週間を肝臓週間とした。

この肝臓週間を中心に、次のとおりウイルス性肝炎に関する啓発活動を行った。

(2) 令和元年度の取組

○日本肝炎デーに係る啓発活動

広島県では、日本肝炎デーに合わせて啓発活動を行っている。令和元年度は7月26日（金）に次のとおり啓発活動を行った（図1、表1）。



図1 肝炎デーの様子

RCCのニュースでも取り上げられました



表1 令和元年度日本肝炎デー啓発活動の概要

場所	広島駅前広場（南口側）
日時	令和元年7月26日（金）9：00～11：00
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・肝炎ウイルス検査受検勧奨の呼びかけ ・肝炎ウイルス検査受検勧奨の啓発資材（ウェットティッシュ・チラシ）3,000部配布
参加者	特任肝疾患コーディネーター（特任 Co）等を含む23名 （所属内訳：所属名50音順） <ul style="list-style-type: none"> ・全国健康保険協会 広島支部（3人） ・広島大学大学院医歯薬保健学研究所 疫学・疾病制御学研究室（15人） ・福山市民病院（1人） ・薬務課（4人）
その他	令和元年7月23日（火）～25日（木）の間、MAZDA Zoom-Zoom スタジアム内アストロビジョンにて啓発動画（15秒）放映

○県立図書館等との連携によるテーマ展示

日本肝炎デーを含む期間、広島県立図書館との連携により次のとおり資料展示を行い、この展示が好評だったため尾道市立中央図書館でも同様の資料展示を行った（表2、図2）。

県立広島図書館での展示は夏休み期間にも展示を行ったため幅広い世代が来場した。また、蔵書の貸出も多く、特に尾道市立中央図書館では展示資料のほぼ全てが貸し出された。

表2 図書館との連携によるテーマ展示概要

場所	県立広島図書館	尾道市立中央図書館
日時	令和元年6月18日（火）～9月1日（日）	令和元年10月6日（日）～23日（水）
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性肝炎関連資料展示（年表、基礎知識、今までの啓発資材 等） ・関連図書の閲覧、貸出 ・リーフレット類の配布 	



図2 資料展示の様子
 （上段）広島県立図書館
 （下段左）尾道市立中央図書館
 （下段右）展示した年表の一部抜粋

○特任 Co と連携した啓発活動

肝臓週間を中心に受検勧奨等の啓発活動を各地域で行うため、日本肝炎デーの啓発活動でも使用したウェットティッシュ及びリーフレットを、希望に応じて県から特任 Co に提供し、特任 Co らが次のとおり啓発活動を行った（図3、表3）。



図3 啓発活動の様子

表3 特任 Co の活動概要

特任 Co 所属先	日時	その他
マツダ病院	令和元年7月22日～7月28日	期間中に63名が受検
広島大学病院	令和元年7月29日～8月30日	院内で活動することにより肝疾患 Co 活動の周知にもなった
福山市民病院	令和元年8月1日	恒例の駅前での啓発活動を参考に実施
広島赤十字・原爆病院	令和元年9月14日	腹部エコー検査も実施
安佐市民病院	令和元年11月2日	腹部エコー検査も実施
尾道総合病院	令和元年11月9日	病院祭で啓発を実施

3 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業【相談・受療】

(1) 背景

本事業は、B型肝炎ウイルス（HBV）又はC型肝炎ウイルス（HCV）による肝がん及び重度肝硬変（非代償性肝硬変）の治療水準の向上に向け、患者負担等の環境を整備するために行うものである。平成30年12月1日に本事業を施行した（平成30年4月1日適用）。

(2) 概要（図4）

- HBV 又は HCV による肝がん又は重度肝硬変に対する入院医療費の一部を助成
- 参加者証の有効期間内で、助成を受けたい月の過去12月以内に3月以上高額療養費算定基準額の上限を超える入院があった場合、4月目から助成対象
(有効期間内の入院が必ずしも助成対象ではない)

- 参加者証の有効期間は原則として1年間で、更新月の過去12月以内に3月以上高額療養費算定基準額を超える入院があった場合、更新可能

(3) 令和元年度取組

ア 実施要綱の一部改正

令和2年1月1日に一部改正し、助成を受けたい月の過去12月以内の入院先として、指定医療機関以外も入院回数のカウント対象とした。

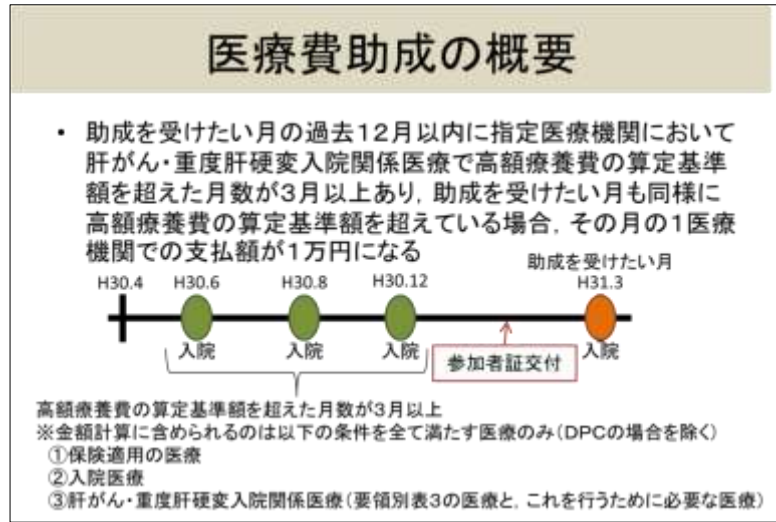


図4 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の概要

イ 取扱要領の一部改正

令和元年6月7日に一部改正し、重度肝硬変の治療目的と判断するための一覧(取扱要領 別表3)に非代償性肝硬変に対する抗ウイルス治療を追加した。

令和2年1月1日に一部改正した。主な改正内容は前述アと同様。

ウ 参加者証の発行状況 (R1.1.31 現在)

	新規交付		更新交付	
	申請数	発行数	申請数	発行数
H30年度	7	7		
R元年度	10	9	1	1

数値は件数

エ 指定医療機関等数 (R1.12.17 現在)

2次医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北
指定医療機関数	22	0	3	1	7	8	2

数値は件数

オ 制度普及のための啓発活動

患者への制度周知と医療機関への指定勧奨のため、厚生労働省が作成したリーフレット等を送付した。また、県独自のリーフレット(図5)を作成し、活用した。

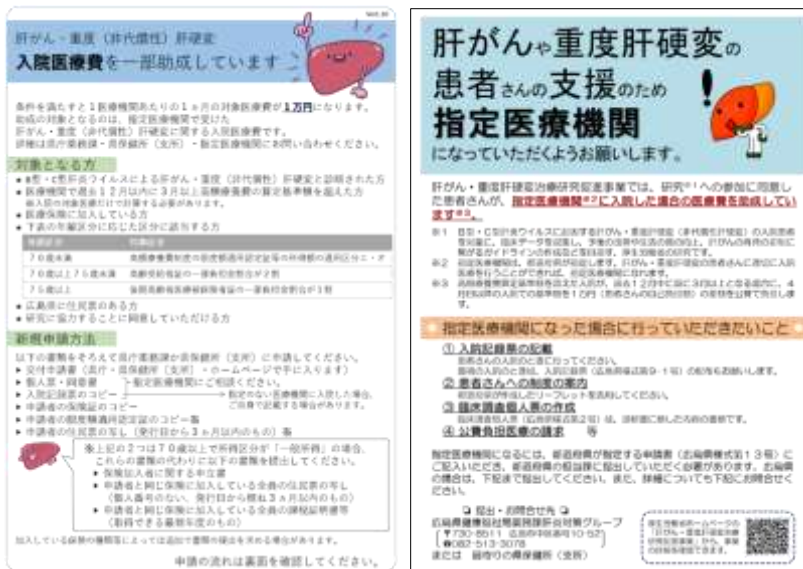


図5 広島県版リーフレット (左) 患者向け (右) 医療機関向け

4 健康管理手帳【相談・受療】

平成 24 年度に現行版の手帳（健康管理手帳）を作成し、平成 28 年度に改訂版を作成した。

今年度は、最新のウイルス性肝炎の治療方法、各種公費助成制度の改正等の内容を踏まえ、改訂版を 3,000 部作成した。主な改訂内容は次のとおり。

- ・新規治療薬等に係る内容の改正・追加
- ・肝炎治療特別促進事業の一部改正に係る改訂
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に係る内容の追加
- ・重症化予防推進事業（初回精密検査費用助成，定期検査費用助成）の一部改正に係る改訂
- ・障害年金及び身体障害者手帳に係る内容の改訂

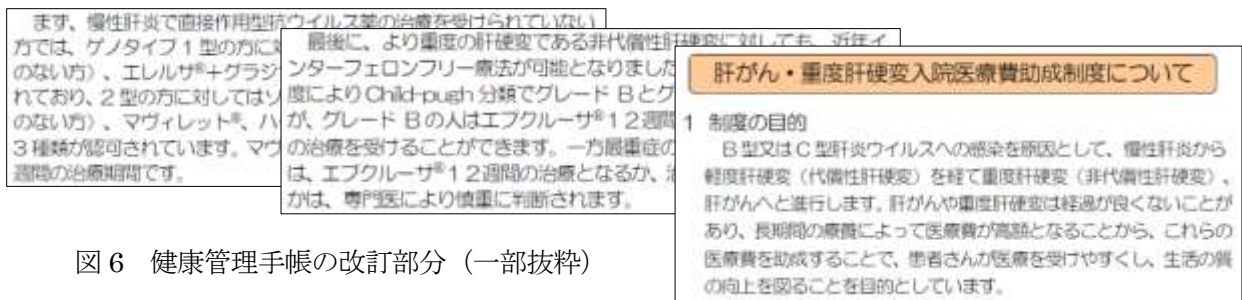


図 6 健康管理手帳の改訂部分（一部抜粋）

なお、今年度改訂版は、各保健所、市町、拠点病院、ネットワーク専門医療機関、患者会等へ配布し、原稿を県ホームページに掲載した。

5 学会発表等【その他】

広島県における肝炎対策を県内外に周知し参考にしてもらおうことと、県内外の状況把握や担当者との意見交換等のため、学会等で積極的に発表を行った。

(1) 第 55 回日本肝臓学会総会

日時：令和元年 5 月 30 日（木），31 日（金）

場所：京王プラザホテル（新宿）

発表内容：

- メディカルスタッフセッション 1
「ひろしま肝疾患コーディネーターの現状と新たな取組」
(総合討論，ポスター発表 [図 7])
⇒総括 Co・特任 Co 制度等の取組を紹介。他自治体でも活動の見える化や具体的な活動内容，モチベーションの維持等の課題があった。



図 7 発表資料（セッション 1）の一部抜粋

- メディカルスタッフセッション 2

「広島県における肝疾患対策～広島県肝疾患患者フォローアップシステムの運用と課題～」

(口演，ポスター発表 [図 8])

- ⇒受診調査票（診断書に代わる県独自様式。文書料は県が全額負担）を中心としたシステムの仕組みを紹介。

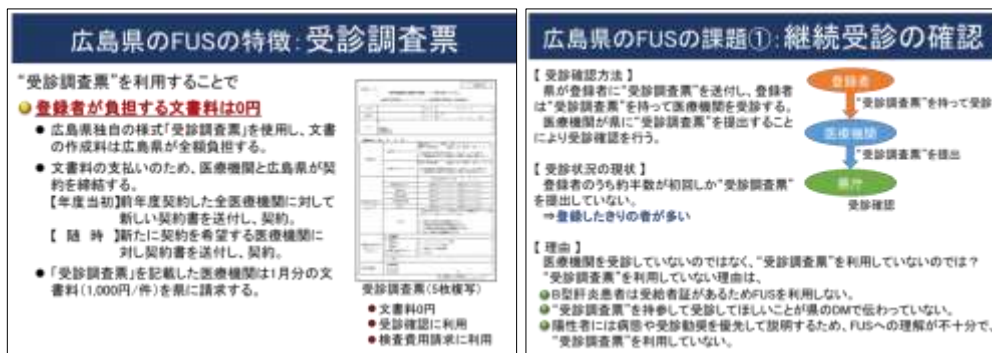


図 8 発表資料
(セッション 2)
の一部抜粋

(2) 令和元年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議（中国四国ブロック）

日時：令和元年 9 月 24 日（火）13：30～17：30

場所：岡山県医師会館

発表内容：都道府県からの事例発表「広島県における肝疾患対策」（図 9）

⇒肝臓学会総会のセッション 1， 2 の内容をまとめて紹介



図 9 発表資料
の一部抜粋

(3) 令和元年度 第 2 回都道府県肝疾患診療連携拠点病院 医師・責任者向け研修会

日時：令和 2 年 1 月 24 日（金）13：00～15：00

場所：東京コンファレンスセンター・品川

発表内容：

- 自治体事例報告「広島県における肝疾患対策」
- 討論

⇒中四国ブロック会議と同内容を紹介。今後のブロック戦略会議についてや肝疾患 Co について等、討論した。

6 B 型肝炎訴訟診断書作成医療機関の拡充【その他】

平成 30 年度広島県肝炎対策協議会での協議結果を踏まえ、次のとおり診断書作成医療機関を拡充した（表 4）。

表 4 診断書作成医療機関に関する変更点

変更前（H30 年度）	変更後（R 元年度）
広島県肝疾患診療支援ネットワーク専門医療機関：34 医療機関	広島県肝炎治療特別促進事業における肝疾患専門医療機関：144 医療機関 (ただし、厚生労働省 HP に掲載されている医療機関は、公表に同意した 119 医療機関)